



年末年始の大雪で2桁越え次々 困りごとがありましたらお知らせください

今冬の寒波はすでに二回もやってきて各地で停電、公共交通の運休などの被害をもたらしました。年末年始の第二波では積雪量が一気に増え、積雪2桁越えのところがいくつも出てきました。上越市内の積雪量は5日の午前9時現在で、安塚区須川が2桁49雫、牧区棚広新田が2桁48雫、大島区田表が2桁40雫、吉川区下川谷が2桁34雫、大島区菅蒲が2桁30雫となっています。1月の第1週の時点でこれだけ積もったのは久しぶりです。私は5日、市内でも2桁以上の積雪となっている豪雪地帯を見ました。具体的には、吉川区下

川谷、大島区板山、安塚区切越、牧区棚広新田というルートで動きまわりました。目的は各地の積雪状況、除雪がどうなっているか、雪崩などの危険箇所がないかどうか、通勤通学その他で支障がないかどうか自分の目で確認することです。また7日からの降雪を前にした排雪作業の状況をも確認したいと思っていました。その結果、県道の一部で支障のあるところがあったものの、全体としてしっかりと対応されていることがわかりました。支障があったところは直ちに関係行政機関に連絡しました。左の写真は、上から牧区の高尾

から棚広新田間の市道、大島区板山の市道、吉川区村屋の県道です。このうち村屋は排雪作業の写真です。たぶん、このヒラが皆さんのところに届く頃には第三の寒波がやってきていることと思います。何か困りごとが起きましたら、遠慮なく私の携帯(090・5392・1961)に連絡下さい。



【ヤブコウジ】再掲。サクラソウ科の常緑小低木。漢字で「藪柑子」と書きます。別名は「十両」。本州、四国、九州など全国各地にあります。身近な林の木陰を探してみてください。雪の少ないところなら、じきに赤い実が見つかるでしょう。花は夏、白色の小さな花を下向きに咲かせます。花言葉は「明日の幸福」。福をもたらすと言われていています。写真は12月16日、吉川区小苗代にて撮影しました。

冬期生活安全・安心確保事業、今冬は7地区11集落で実施

| 地区 | 委託料(千円) |
|---------|---------|
| 中ノ俣・上綱子 | 1,620 |
| 牧区片町・吉坪 | 540 |
| 牧区切光・鷺尾 | 540 |
| 牧区今清水・泉 | 540 |
| 柿崎区城腰 | 540 |
| 吉川区上川谷 | 540 |
| 吉川区下川谷 | 540 |
| 合計 | 4,860 |

上越市では、過疎・高齢化が進んでいる中山間地域の集落において、冬期間における地域住民の安全・安心を確保するため、「冬期生活安全・安心確保事業」に取り組んでいます。

この事業の目的は、集落内の生活道路や高齢者世帯の雪処理などを行い、地域住民が冬場でも安心して暮らせるようにすることです。

今冬は左表の通り、牧区、吉川区などの7つの地区、集落を対象にして事業に取り組んでいます。事業は、町内会などに委託して行われています。

今冬の予算額は486万円。このうち、新潟県が162万円、上越市が324万円を出しています。

はしづめ法一の
活動レポート

No.1993 2021.1.10
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一 検索

春よ来い 第六四〇回 春になったら(2)

大晦日、母が介護施設からわが家に帰ってきました。前회가一月の上旬でしたから、五十数日ぶりの帰宅です。

送って来てくださったケアママネのMさんによると、母はその前の晩、眠れなかったようだったとのことでした。母に聞くと、「体の調子悪くて、眠らんねかったがど。神様、ねーらしてくんない、と手を合わせただけダメだった」と答えました。

そのせいもあったのでしようか、帰ってきた母は、これまでになくテンションが高くなっていました。

「きょうは三日の年越しだ」
「よくわかるねえ」

「そのや、わかるよ。ゼンメの煮しめとササギの煮たが、頼んでおいたがだでもなあ」

母が頼んだと思っている人は、たぶん、施設で料理を担当されているスタッフの方なのでしょう。実際はありえない話です。母の頭の中は賑やかになっているなど思いました。それを裏付けるように、雪が降る時期だというのに、イネの話もしました。

「とちや、はさイネどうしんが」
「イネなんかねえよ」

「ほしゃいかった。人目わりいと思った」
わが家は元々稲作農家でした。牛飼もしていたのでワラ集めも忙しく、地域ではイネの収穫作業が遅い農家の一つでした。母の頭には、そのことがしっかり記憶されているんですね。

今回の帰宅でも母は、離れて暮らしている私の弟たちやイトコなどとスマートフォンを使ってテレビ電話をしました。弟たちからは「かちや、きょうは家か。良かったねえ」と言われ、「ニニ」顔でした。

母はイトコたちの顔も声もしっかり覚えています。今回、初めてテレビ電話した習志野市のイトコがスマホの画面に登場すると、「エツオちゃんか、元気かね」と声を

かけました。亡くなった叔父そっくりの眉毛としゃべりに母はうれしそうでした。

高崎市のイトコは八〇代の半ばです。これまで二人は何度も電話しています。

「ヨウ」さん、おまさん、頭、白くなんなつたでもきれいだ。こんだ、コゴメやるでね」

母の言葉に気をよくしたイトコは、「もう五年頑張ろうと思ったけど、一〇年にするわ」と言いました。

高崎のイトコとの電話が終わってすぐに、母は電動イスのスイッチを入れ、イスを上げ始めました。

「トイしか」
「なして、コゴメ、採りに行ぐがど」

「雪、あるすけ、行かんねえ」
「ほっか、春になったら、コゴメ採りでも、笹採りでもなんでもするよ」

高崎のイトコとの電話で母は、明確な目標を持ったようです。母は車イス生活ですが、頭の中では、母の体は自由に動きまわります。その後、料理の話もしました。

「とちや、おらちの餅焼く炭、どい」
「とちや、赤飯、ふかそうか」

母は昼食後もテレビ電話をしました。名古屋市の住むひ孫のリョウ君は五歳。母は「リョウちゃん、ヨオー」と声をかけ、顔をスマホの画面に近づけたり、遠ざけたりして遊び相手をしていました。上手なものです。電話が終わったら私に言いました。

「リョウちゃん、いい子になったなあ。しっかりしてる。ありや、学校できると、きつと。ミカン二つ、やれば良かったなあ。こんだ、山菜も採ってきて、うんまいもん、買ってきこせよ」

今年の冬は雪が多く、春の訪れはいつもよりも遅くなるかも知れません。春になったら、母をコゴメが採れる場所へ必ず連れ行ってやりたいと思います。コゴメの香りをかぎ、また元気が出るはずですよ。

青木新門の詩、「合掌」が掲示板に

写真は安塚区小黒にある真宗大谷派寺院、専敬寺の掲示板です。映画、「おくりびと」の原作者、青木新門さんの言葉が書かれていました。

裸木の細い枝々が おた雪がふる 空を見上げて 合掌するかのようには おた雪をおしただいてる

この言葉は青木新門さんの詩集、『雪道』の中の「合掌」という詩です。素敵ですね。そして、この言葉と掲示板そのものが見事にマッチしている、これにも感動しました。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

| | 12月30日(水) | 1月6日(水) |
|--------|-----------|---------|
| 上越南消防署 | 0.057 | 0.053 |
| 上越北消防署 | 0.053 | 0.040 |
| 新井消防署 | 0.057 | 0.053 |
| 頸北消防署 | 0.053 | 0.053 |
| 頸南消防署 | 0.057 | 0.063 |
| 東頸消防署 | 0.057 | 0.050 |
| 名立分遣所 | 0.063 | 0.053 |
| 高士分遣所 | 0.057 | 0.053 |

コウノトリが朝日池周辺に



昨年11月下旬、大潟区朝日池周辺に飛来したコウノトリが年末になってもしました。そのままいつけたのか、いったんどこかへ行ったかは不明です。

写真は朝日池の近くの田んぼでカエルを食べるコウノトリ。12月29日、私が撮影しました。